

# 生き方教室

絵本作家 渡辺鉄太さんをお迎えして

2月10日（水）本校・多目的ホールにて



メルボルン在住の絵本作家・渡辺鉄太さんをお招きして、生き方教室を開催いたしました。

前半の部（プレップ～G3）は、渡辺さんの作られた絵本を、渡辺さん自らに読み聞かせていただくことを中心に行いました。絵本ができるまでの

ヒントとなるエピソードを、楽しく聞かせていただきました。なかでも、オーストラリアの動物、ビクトリア州内のアボリジニ文化に根ざしたお話など、このメルボルンの地に住んでいるからこそ発見できることをたくさん教えていただきました。

後半の部（G4～G9）

は、「おおきなカエル ティダリク」「としょかんねずみ」を読み聞かせをしていただきました。ティダリクのお話は、ビクトリア州のアボリジニの方から教えていただいた話を日本語に訳したものだとお話いただきました。



そのアボリジニの方から「翻訳するときには、日本語の中でも地方独特の『方言』を使って訳してほしい。」とのアドバイスを受けて、作品の絵を書かれている奥様の加藤チャコさんが親しんだ山形弁を所々に採用しているというお話もいただきました。



「としょかんねずみ」は、アメリカのお話の翻訳です。図書館に住むねずみのサムが、図書館の書架に自筆の本を起し始めたことから動き出すお話です。児童・生徒たちは興味深く聞いていました。また、明日から図書室へ訪問する子どもが増えそうです。



渡辺鉄太さんとお話をさせていただいて、ますます、図書館経営の大切さ、子どもたちにとっての絵本やホントの出会いの大切さを改めて感じました。作家さんとして、絵本制作の中での楽しさと作品世界への思い入れを語っていただいたこの時間は、子どもたちのかけがえのない財産となったことでしょう。

渡辺鉄太さん、本当にありがとうございました。ぜひまた、メルボルン日本人学校へお寄りください。

